




おっぱい通信 2023.8 月発行 ～ワクチンと授乳について～

麻疹ウイルスが海外から持ち込まれ国内で増えていることはご存知ですか？
感染力が強く、妊婦さんが罹患した場合、重篤化するリスクが高くなるため、
ワクチン接種が大切です!!

今回はワクチン接種と授乳についてお話しします 

麻疹ってなに？

麻疹ウイルスによっておこる病気です。感染力がとても強く、空気・飛沫（咳やくしゃみ）・接触（ウイルスが付着したドアノブ等に触れる）による感染により発症します。


ワクチンとは？

ワクチンとは、感染症の予防に用いる薬のことです。接種することで感染症の抵抗力（免疫抗体）ができます。そのため、いざ感染した時に病原体が体に入っても発症しなかったり、発症したとしても軽症ですみます。
麻疹は、ワクチン接種で予防することができます！！

ワクチン接種と授乳について

米国 ACIP の報告では、授乳をしている母親が MR ワクチン（麻疹風疹ワクチン）を接種すると、母乳中にワクチンの成分が移行し、一時的に抵抗力が認められたとの報告があります。しかも乳児は無症状であり、風疹・麻疹の影響を与えるには至らなかったと報告されています。

そのため授乳期にワクチンを接種しても、子どもに症状の出現なく安全にワクチンを接種できます！！

※妊娠中はワクチンの接種が出来ないため、今後妊娠予定の方は、妊娠前にワクチン接種を行い、感染を防ぐことが大切です 
(名古屋市内在住の方は、助成が受けられます！)

参考文献

- 日本赤十字社 <https://kusiro.jrc.or.jp>
- 日本ワクチン産業協会 <http://www.wakutin.or.jp>
- 厚生労働省 HP

名古屋市立大学医学部附属西部医療センター
育児支援委員会
電話：052-991-8121（代表）